

市史編さん事業着手の御案内

国分寺市が誕生して今年で60年の節目を迎えます。江戸時代以前から国分寺市域に存在した小さな村々は、明治22年(1889年)に合併して国分寺村となり、昭和15年(1940年)に国分寺町となりました。そして昭和39年(1964年)、国分寺町は市制施行により「国分寺市」となったのです。

国分寺市誕生60周年にあたり、国分寺に暮らしの人々の歴史を学び、私たちがこれから歩いていく未来への道標とするため、新しい『国分寺市史』の編さんを開始しました。

今から50年前、誕生10周年を迎えた国分寺市は、地域の歴史をまとめるために『国分寺市史』の編さんを始め、通史編上・中・下巻を刊行しました。

『国分寺市史』の下巻が平成3年(1991年)に刊行されてから約30年が経ち、昭和、平成、令和へと続く時代の移り変わりの中で、地域の歴史が新たに積み重ねられてきています。市史編さん室では、今までの調査・研究の成果を活用しつつ、さらなる資料の掘り起こしに努め、新しい『国分寺市史』の編さんに向けて準備を進めています。

市内の小・中学校では、今年度から「地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献する『国分寺学』」の理念を基にした地域学習が始まりました。新しい『国分寺市史』は、「国分寺学」を学習するための基礎資料としても活用できるものを目指します。また、小・中学生の皆さんが国分寺の歴史を学び、考えるきっかけにもらえるよう、「こども市史」の編さんを予定しています。さらに、市史を編さんする中で、歴史講演会や講座のほか、小・中学生の皆さんと一緒に市史を作っていくような企画を考えていきます。

問合せ 市史編さん室 ☎(042) 571-7815

学校給食を味わおう 給食レシピ

鯖の変わり揚げ 1人分 207kcal ≪材料≫ 4人分

鯖・・・・・・・・4切れ	} A	しょうが・・・・・・・・5g
酒・・・・・・・・10g		にんにく・・・・・・・・1.5g
塩・・・・・・・・1.5g		小麦粉・・・・・・・・5g
しょうゆ・・・・・・・・15g		片栗粉・・・・・・・・40g
砂糖・・・・・・・・2.5g		揚げ油・・・・・・・・適量
ごま油・・・・・・・・5g		

《作り方》

- ① しょうが、にんにくをすりおろす。
- ② Aと①を混ぜ合わせ、鯖に下味を付ける。
- ③ 小麦粉、片栗粉を混ぜ合わせ、鯖に衣を付ける。
- ④ 180度の油で揚げたら、できあがり。

鯖以外の魚や、鶏肉、イカ等でもOKです。



この日の給食は、焼きおにぎり、鯖の変わり揚げ、小松菜ともやしのごま和え、豚汁、牛乳でした♪ご家庭でも作ってみてはいかがでしょうか。

小学校給食のレシピはクックパッドにも掲載しています。ぜひご覧ください！

HP <https://cookpad.com/kitchen/16684637>
右の二次元コードからもアクセスできます。

問合せ 学務課 ☎(042) 574-4042



国分寺市の文化財 市重要有形文化財(建造物) 国分寺薬師堂 西元町一丁目

国分寺崖線の台地の上に国分寺薬師堂があります。国分寺の由来を書いた『医王山縁起』によれば、武蔵国分寺は元弘3年(1333年)の鎌倉幕府滅亡の契機となる分倍河原の戦いで焼失しました。前身の堂は焼失をまぬがれた薬師如来を安置するため、建武2年(1335年)、新田義貞の寄進で史跡武蔵国分寺跡の金堂付近に建立された薬師堂と伝えられています。この建物は、宝暦6年(1756年)頃に建造されました。



建物は桁行五間、梁間五間、屋根は寄棟造、昭和60年(1985年)に茅葺屋根から銅板葺屋根となりました。内部は仏像を安置する内陣と一般参詣者の空間である外陣が、引違い戸と中央の格子戸で分けられています。内陣には平安時代末期の作とされ国指定重要文化財である木造薬師如来坐像、その両脇に室町時代の作とされる日光菩薩像、月光菩薩像、江戸時代作の十二神将像が安置され、天井には植物の彩色画が描かれています。一方、外陣には「金光明四天王護国之寺」の寺額が掲げられ、天井は墨絵で龍が描かれています。

昭和51年(1976年)に市重要文化財(建造物)に指定された国分寺薬師堂の内部は、毎年10月10日の薬師如来の開帳日に見ることができます。

問合せ ふるさと文化財課 ☎(042) 300-0073

市オリジナルランドセルカバーを作製・配布しました



児童の通学時における交通安全対策の一環として、市オリジナルのランドセルカバーを作製し、令和6年度から新小学1年生になる子どもたちへ配布しました。

問合せ 学務課 ☎(042) 574-4042